

外科手術調査2006

症例票

06年11月1日～07年2月28日の期間に、当該医療機関でその手術を受けた患者を調査対象とし、症例票の作成は06年11月1日～07年3月30日の期間に退院（死亡・転院・転科を含む）した患者の退院時および、07年3月30日時点で入院中の患者については同日時点で行うものとする。

[膵頭十二指腸切除術]

* 原疾患は悪性腫瘍および良性疾患の双方を含む

術者情報	主たる術者のこの術式の術者としての総経験数のランク	a. 10例未満 b. 10～20例未満 c. 20～50例未満 d. 50例以上
	手術チームの実施責任者の、この術式の術者としての総経験数のランク	a. 10例未満 b. 10～20例未満 c. 20～50例未満 d. 50例以上
	主たる術者と手術チームの実施責任者は異なるか	同一 異なる
術前情報	患者の手術時年齢	()歳
	患者の性別	男
		女
	術前の糖尿病の有無	なし
		あり・無治療
		あり・食事療法等のみ、または経口糖尿病薬治療中
	原疾患	膵頭部癌、
		胆管癌
		十二指腸乳頭部癌
		良性疾患(良性腫瘍、慢性膵炎、外傷など)
臨床ステージ(癌の場合)	I	
	II	
	III	
	IV	
手術情報	実施手術(複数選択)	幽門輪温存
		大動脈周囲リンパ節郭清
		門脈合併切除
	手術時間	()時間()分
	術中出血量	()ml
手術実施年月日	年 月 日(西暦)	

術後情報	術後の化学療法の有無	なし
		あり
	術後の胆管炎	なし
		あり
	縫合不全	なし
		あり
	胆汁漏	なし
		あり
	術後のイレウス症状の有無	なし
		あり
	退院時(または07年3月30日)の転帰	生存退院
		死亡退院
		07年3月30日現在入院中
	上記生存時、術前に存在しなかった非可逆的な障害の有無	なし
あり(障害の種類:)		
退院年月日	年 月 日(西暦)	

「主たる術者」とは、当該手術において最も重要な手技を実行した者である。

「手術チームの責任者」とは、当該手術に手洗いで参加し、当該手術の方針や進行に関する意思決定を下した者である。したがって、「主たる術者」とは必ずしも一致しない。

外科手術調査2006

症例票

06年11月1日～07年2月28日の期間に、当該医療機関でその手術を受けた患者を調査対象とし、症例票の作成は06年11月1日～07年3月30日の期間に退院（死亡・転院・転科を含む）した患者の退院時および、07年3月30日時点で入院中の患者については同日時点で行うものとする。

[術式名: 結腸癌における腹腔鏡下結腸切除術]

術者情報	主たる術者のこの術式の術者としての総経験数のランク	a. 30例未満 b. 30～100例未満 c. 100～200例未満 d. 200例以上
	手術チームの実施責任者の、この術式の術者としての総経験数のランク	a. 30例未満 b. 30～100例未満 c. 100～200例未満 d. 200例以上
	主たる術者と手術チームの実施責任者は異なるか	同一 異なる
術前情報	再手術区分	a. 当該部位の腫瘍切除に関する初回手術
		b. 待期的分割手術の2度目以降
		c. 予期しない閉塞や合併症による再手術
	患者の手術時年齢	()歳
	患者の性別	男
		女
	癌の部位	盲腸
		上行結腸
		横行結腸
		下行結腸
臨床ステージ	S状結腸	
	0	
	I	
	II	
	III	
手術情報	実施手術	結腸部分切除
		回盲部切除
		S状結腸切除
		結腸右半切除
		結腸左半切除
		結腸全摘
	手術時間	()時間()分
術中出血量	()ml	
手術実施年月日	年 月 日(西暦)	

術後情報	術後の化学療法の有無	なし
		あり
	縫合不全の有無	なし
		あり
	術後のイレウス症状の有無	なし
		あり
	退院時(または07年3月30日)の転帰	生存退院
		死亡退院
		07年3月30日現在入院中
	上記生存時、術前に存在しなかった非可逆的な障害の有無	なし
		あり(障害の種類:)
	退院年月日	年 月 日(西暦)

外科手術調査2006

症例票

06年11月1日～07年2月28日の期間に、当該医療機関でその手術を受けた患者を調査対象とし、症例票の作成は06年11月1日～07年3月30日の期間に退院（死亡・転院・転科を含む）した患者の退院時および、07年3月30日時点で入院中の患者については同日時点で行うものとする。

[術式名:直腸癌における直腸切除術/切断術]

術者情報	主たる術者のこの術式の術者としての総経験数のランク	a. 50例未満 b. 50～100例未満 c. 100～500例未満 d. 500例以上
	手術チームの実施責任者の、この術式の術者としての総経験数のランク	a. 50例未満 b. 50～100例未満 c. 100～500例未満 d. 500例以上
	主たる術者と手術チームの実施責任者は異なるか	同一 異なる
術前情報	再手術区分	a. 当該部位の腫瘍切除に関する初回手術
		b. 待期的分割手術の2度目以降
		c. 予期しない閉塞や合併症による再手術
	患者の手術時年齢	()歳
	患者の性別	男
		女
	癌の部位	RS
		Ra
		Rb
	臨床ステージ	0
I		
II		
III		
IV		
手術情報	実施手術	高位前方切除術
		低位前方切除術
		Hartmann手術
		直腸切断術(Miles)
	手術時間	()時間()分
術中出血量	()ml	
手術実施年月日	年 月 日(西暦)	

外科手術調査2006

症例票

06年11月1日～07年2月28日の期間に、当該医療機関でその手術を受けた患者を調査対象とし、症例票の作成は06年11月1日～07年3月30日の期間に退院（死亡・転院・転科を含む）した患者の退院時および、07年3月30日時点で入院中の患者については同日時点で行うものとする。

[術式名: 乳腺悪性腫瘍における根治手術]

術者情報	主たる術者のこの術式の術者としての総経験数のランク	a. 50例未満 b. 50～100例未満 c. 100～500例未満 d. 500例以上
	手術チームの実施責任者の、この術式の術者としての総経験数のランク	a. 50例未満 b. 50～100例未満 c. 100～500例未満 d. 500例以上
	主たる術者と手術チームの実施責任者は異なるか	同一 異なる
術前情報	患者の手術時年齢	()歳
	患者の性別	女
		男
	癌の部位	右
		左
		両側
	臨床ステージ	0
		I
		IIa
		IIb
IIIa		
IIIb		
IV		
手術情報	実施手術	乳房温存手術
		胸筋温存乳房切除術 (Patey, Auchincloss)
		胸筋合併乳房切除術 (Halsted)
	センチネルリンパ節生検の実施	なし
		あり
	手術時間	()時間()分
術中出血量	()ml	
手術実施年月日	年 月 日 (西暦)	

術後情報	術後の化学療法の有無	なし
		あり
	術後の内分泌療法の有無	なし
		あり
	術後の放射線療法の有無	なし
		あり
	退院時(または07年3月30日)の転帰	生存退院
		死亡退院
		07年3月30日現在入院中
	上記生存時、術前に存在しなかった非可逆的な障害の有無	なし
		あり(障害の種類:)
	退院年月日	年 月 日(西暦)

(6)日本胸部外科学会

医療機関票

都道府県	
医療機関名	
回答診療科名または講座名など	
回答者氏名	
回答者電子メールアドレス(問合用)	



外科手術調査2007【術式名:冠動バイパス手術】
症例票

※1症例/1行で記入してください

□はプルダウンから選択します 項目タイトルのコメン

No.	術者情報			術前情報									
	「主たる術者」のバイパス手術の術者経験数	「手術チームの実施責任者」のバイパス手術の術者経験数	「主たる術者」と「手術チームの実施責任者」は異なるか?	緊急区分	再手術区分	患者の手術時年齢	患者の性別	慢性閉塞性呼吸器疾患の有無	術前の糖尿病の有無	術前血清クレアチニン値 >2.0mg/dl	術前の透析治療の有無	脳血管障害の既往	ASO/AAAの既往
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													
26													
27													
28													
29													
30													
31													
32													



外科手術調査2007【術式名: 弁膜症手術】
症例票

※1症例/1行で記入してください

はプルダウンから選択します

No.	術者情報			緊急区分	再手術区分	患者の手術 時年齢	患者の性別	遺伝性毒性 呼吸器疾患 の有無	術前の糖尿 病の有無	術前血清ク レアチニン 値 >2.0mg/dl	術前の透析 治療の有無
	「主たる術者」の弁膜 症手術の術者経験 数	「手術チームの実施責 任者」の弁膜症手術の 術者経験数	「主たる術者」と「手術 チームの実施責任者」 は異なるか?								
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											



外科手術調査2007【術式名：肺悪性腫瘍手術、胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術】
症例票

※1症例/1行で記入してください

はプルダウンから選択項目タイトルのコメント

No.	術者情報			術前情報						
	「主たる術者」の当該術式の術者経験数	「手術チームの実施責任者」の当該術式の術者経験数	「主たる術者」と「手術チームの実施責任者」は異なるか？	患者の手術時年齢	患者の性別	慢性閉塞性呼吸器疾患の有無	術前の糖尿病の有無	術前血清クレアチニン値 (mg/dl)	脳血管障害の既往	心疾患の有無
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										

